

- 問1 イギリス（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）は、四つの地域が合わさって構成されている連合王国です。この国の国旗である「ユニオンジャック」は、イングランド、アイルランド、そしてグレートブリテン島の北部に位置する、独自の文化や歴史を持つある地域の旗を組み合わせで作られました。このカタカナ7文字で表記される地域の名称を答えなさい。（2018年 千葉県公立入試 類似）
- ウェールズ
 - スコットランド
 - アイルランド
 - イングランド
- 問2 EU（欧州連合）の加盟国間で見られる、一人あたりの国民総所得や経済発展レベルの不均衡について説明した文章として、最も適切なものはどれですか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）
- EU加盟国はすべて共通通貨であるユーロを導入しているため、通貨の安定によって加盟国間の経済的な不均衡はすでに解消されている。
 - 2000年代以降に加盟した東ヨーロッパの国々は、西ヨーロッパの国々と比較して経済発展が遅れており、大きな経済格差が生じている。
 - EUは域外の国々に対しても関税を一切撤廃する政策をとっているため、世界全体との自由な貿易によって加盟国間の所得差はなくなっている。
 - EU発足以来、イギリスなどの主要な国が離脱した事例は一度もなく、すべての加盟国が緊密に連携して均一な経済水準を保っている。
- 問3 ピレネー山脈を挟んでフランスと隣接しているスペインの、経済や産業における特徴的な説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 長崎県公立入試 類似）
- ユーロなどの共通通貨は使用せず、自国独自の通貨を維持することで、独自の農業政策を推進している。
 - 欧州連合（EU）の共通通貨であるユーロを導入しており、周辺国との経済的な結びつきを強めている。
 - 主要作物である小麦の自給率が100パーセントを超えており、ヨーロッパ州を代表する穀物輸出拠点となっている。
 - EUには加盟しているが、共通通貨の導入に反対し、フランスとの貿易制限を行っている。
- 問4 地中海沿岸付近に見られる気候の月平均気温と月降水量の変化の特徴について説明したものとして、最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- 夏に雨が集中し、冬は乾燥して極端に低温となる。
 - 年間を通して月平均気温の変化が小さく、毎月平均した降水量が見られる。
 - 年間を通して月降水量が極めて少なく、乾季が続く。
 - 夏に高温乾燥し、冬に温暖で一定の降水が見られる。
- 問5 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国のうち、フランスなど多くの国々が共通通貨「ユーロ」を導入している目的や利点として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 徳島県公立入試 類似）
- 国境を越えた取引における両替の手間や為替変動のリスクをなくし、経済活動を活性化させるため
 - 加盟国がそれぞれ独自の判断で通貨の価値を自由に変更し、輸出を有利に進められるようにするため
 - 加盟国の財政政策を完全に一つに統合し、各国が独自の予算を組む必要をなくすため
 - ヨーロッパ以外の地域からの輸入品に対して共通の関税をかけ、域外との貿易を完全に遮断するため
- 問6 地中海沿岸の地域において、夏にオリーブやブドウ、オレンジといった果樹の栽培が盛んに行われている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- 夏の豊富な降水量を活用して、果実を大きく成長させる必要があるため
 - 夏の高温で乾燥する気候が、水分を逃がさない性質を持つ果樹の栽培に適しているため
 - 夏の冷涼な気候を利用して、病虫害の発生を抑えながら果実を成熟させるため
 - 夏に日射量が不足するため、光合成を助けるために地中海の反射光を利用するため
- 問7 ヨーロッパの諸国を調査した資料において、ある国では挨拶に「Guten Morgen」という言葉が使われ、かつEU加盟国の中で統計上の工業生産額が最も高いことが示されています。この国が属する言語系統と、その国の産業の特徴について述べた文として適切なものはどれですか。（2019年 三重県公立入試 類似）
- スラブ系言語のグループに属し、EU域外との貿易を主軸とした工業を展開している。
 - ラテン系言語のグループに属し、地中海式の農業と工業をバランスよく発展させている。
 - ゲルマン系言語のグループに属し、高度な技術力を背景にEUの工業を牽引している。
 - ゲルマン系言語のグループに属し、広大な土地を利用した小麦などの農業生産が中心となっている。
- 問8 ドイツの貿易構造について、輸出先の主要な相手国にオランダ、フランス、イタリアといったヨーロッパ州の諸国が多く含まれている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）
- ヨーロッパ諸国はすべてドイツと同じ通貨を導入しており、為替変動のリスクが全くないため
 - 周辺諸国は資源が乏しく、ドイツから輸入した工業製品をそのままアジアへ再輸出しているため
 - ドイツは他の大陸の国々との貿易を法律で厳しく制限し、域内経済の保護を優先しているため
 - EU（ヨーロッパ連合）の加盟国間では関税が撤廃され、共通の市場として自由な貿易が行われているため
- 問9 ヨーロッパ州の中でも、広大な国土を活かした農業が非常に盛んであり、主要な穀物である小麦の自給率が100パーセントを超えている国の特徴として正しいものはどれですか。（2024年 長崎県公立入試 類似）
- フランスは、ヨーロッパ最大の農業国の一つであり、小麦などの穀物生産が盛んで、自給率も極めて高い。
 - スペインは、EU（欧州連合）に加盟しているものの、共通通貨であるユーロの導入を見送り、農業を主要産業としている。
 - スペインは、乾燥した気候を活かして小麦の自給率を100パーセント以上に高めているが、通貨は独自のものを使用している。
 - フランスは、農業よりも工業を優先する政策をとっているため、小麦などの主要な食料の多くを輸入に頼っている。
- 問10 1990年から2018年にかけての主要国の統計において、二酸化炭素の総排出量と一人当たりの排出量の両方が減少傾向にあり、環境対策が進んでいるとされる国を次の中から選びなさい。（2023年 奈良県公立入試 類似）
- 中国
 - アメリカ合衆国
 - ドイツ
 - 日本
- 問11 ドイツにおいて、水力を除く再生可能エネルギーの発電量が総発電量の4割近くを占めるほど増加し、原子力の割合が大幅に低下している背景にはどのような事情があるか。（2025年 青森県公立入試 類似）
- 国内でシェールガスが発見されたため、天然ガスによる火力発電を抑制している
 - 原子力発電の安全性が再評価され、老朽化した火力発電所を原子力へ置き換えている
 - 大規模なダム建設に適した地形が多く、水力発電を主力電源としている
 - 環境保護の観点から脱原子力政策を進め、風力や太陽光などの導入を促進している

答え合わせ・解説

問1	答え 2 スコットランド	イギリスは、イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドの4つの地域から構成されています。このうちスコットランドはグレートブリテン島の北部に位置し、1707年にイングランドと合同するまで独立した王国であったため、現在も独自の法制度や文化を保持しています。イギリスの国旗（ユニオンジャック）は、スコットランドの旗（青地に白の斜め十字）とイングランド、アイルランドの旗のデザインを合成したものです。
問2	答え 2 2000年代以降に加盟した東ヨーロッパの国々は、西ヨーロッパの国々と比較して経済発展が遅れており、大きな経済格差が生じている。	EU（欧州連合）は、もともと経済発展の進んでいた西ヨーロッパの国々を中心に発足しましたが、2000年代以降に旧社会主義体制だった東ヨーロッパの国々が多く加盟しました。これらの国々は西側諸国と比較して1人あたりの国民総所得（GNI）が低く、加盟国間での経済格差が深刻な課題となっています。共通通貨ユーロについては、デンマークやスウェーデンのように導入していない国もあり、すべての加盟国が導入しているわけではありません。
問3	答え 2 欧州連合（EU）の共通通貨であるユーロを導入しており、周辺国との経済的な結びつきを強めている。	スペインは1986年に当時のEC（現在のEU）に加盟し、2002年から共通通貨ユーロを導入しています。これにより、隣国であるフランスをはじめとする他のEU加盟国との間で、為替変動のリスクなしに貿易や投資を円滑に行えるようになっていきます。なお、小麦の自給率が100パーセントを超えているという特徴はフランスに該当します。
問4	答え 4 夏に高温乾燥し、冬に温暖で一定の降水が見られる。	地中海沿岸に見られる地中海性気候では、夏は乾燥して気温が高くなり、冬は比較的温暖で雨が降る特徴があります。月平均気温と月降水量の変化を見ると、夏場の乾燥が際立っています。
問5	答え 1 国境を越えた取引における両替の手間や為替変動のリスクをなくし、経済活動を活性化させるため	多くの国が隣接しているヨーロッパでは、国境を越えた人や物の移動が盛んです。共通の通貨を使うことで、通貨を交換する際の手数料が不要になり、また国ごとに通貨の価値が変動して損をする心配がなくなるため、域内での貿易や旅行がより容易になります。これは、ヨーロッパを一つの大きな市場として発展させるための重要な仕組みです。
問6	答え 2 夏の高温で乾燥する気候が、水分を逃がさない性質を持つ果樹の栽培に適しているため	地中海沿岸の夏は日差しが強く、雨がほとんど降らない厳しい乾燥状態となります。このため、葉が小さく厚くて硬い「硬葉樹」であるオリーブや、根を深く張るブドウなどは、体内の水分を逃がさずに成長できるためこの地域での栽培に適しています。一方で、雨が降る冬は小麦の成長期として利用されており、季節ごとの降水パターンの違いを巧みに利用した土地利用が行われています。
問7	答え 3 ゲルマン系言語のグループに属し、高度な技術力を背景にEUの工業を牽引している。	挨拶の「Guten Morgen（グーテン・モルゲン）」はドイツ語であり、ドイツはゲルマン系言語の代表的な国です。また、ドイツはEU最大の工業国であり、自動車、化学、機械などの分野で世界的に高い競争力を持っており、ヨーロッパ経済の柱となっています。
問8	答え 4 EU（ヨーロッパ連合）の加盟国間では関税が撤廃され、共通の市場として自由な貿易が行われているため	ドイツの貿易において周辺のEU諸国が上位を占めるのは、EUという経済統合の仕組みが深く関わっています。EU域内では人・モノ・資本・サービスの移動が自由化されており、関税がかからないため、国境を越えた分業や取引が効率的に行われます。ドイツは高度な工業技術を背景に、これらの近隣諸国へ自動車や機械類を大量に輸出することで、欧州経済の牽引役となっています。
問9	答え 1 フランスは、ヨーロッパ最大の農業国の一つであり、小麦などの穀物生産が盛んで、自給率も極めて高い。	フランスはヨーロッパ州において広大な平原を有しており、混合農業や大規模な小麦栽培が行われています。その生産量は非常に多く、国内の需要を完全に賄えるだけでなく、他国へ輸出する余力も持っています。一方、スペインも農業は行われていますが、小麦の自給率が100パーセントを大きく超える特徴を持つのはフランスです。
問10	答え 3 ドイツ	ドイツは1990年代から環境政策を重視しており、再生可能エネルギーへの転換を積極的に進めてきました。その結果、主要国の中でも、経済規模を維持しながら二酸化炭素の総排出量と国民一人当たりの排出量のどちらも減少させることに成功した稀な例として知られています。
問11	答え 4 環境保護の観点から脱原子力政策を進め、風力や太陽光などの導入を促進している	ドイツは「エネルギー転換（エネルギーヴェンデ）」と呼ばれる政策の下、原子力発電からの撤退と再生可能エネルギーの拡大をセットで進めてきました。特に風力発電や太陽光発電などの普及支援策がとられ、環境負荷の低減を目指す国家方針が発電構成の数字に明確に表れています。